

安倍首相の私的諮問機関「安保法制懇」が 憲法よりも安保を優先する「報告書」提出！

5月15日、安倍首相の私的諮問機関「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」（安保法制懇）が首相に報告書を提出しました。

報告書は、この間政府が憲法違反としてきた「集団的自衛権の行使」を認めるよう、憲法解釈の変更を求めたものです。その内容は、集団的自衛権の行使も「自衛」のためなら必要最小限の範囲で可能であるというものです。

私たちは、このような憲法をないがしろにする「報告書」を断じて認めるわけにはいきません。さらにこうした安倍首相の「私的」なメンバーを集めた「有識者」による出来レースによる懇談会を利用し再び、あの忌まわしい戦争をする国へとつくりかえようとする行為に対しても警鐘を打ち鳴らすものであります。

私たちは、憲法9条を守り広め、世界に未来に子供たちに平和な社会を残すために、戦争政策を推し進める「輩」たちの愚行に対して断固反対し、今後も平和を希求する取り組みを職場、地域から広めていきます。



憲法9条を守り広めよう！